



先進地視察

— 令和5年2月6日から7日に実施 —



●まちなか図書館 (愛知県豊橋市)

訪れた人同士の交流の場！
 「お静かに願います」という図書館と異なり、館内にはBGMが流れ、カフェを創設。
 会話や飲食を楽しみながら、誰でも気軽に利用。
 本の閲覧や貸出しといった図書館の基本的な機能に加え、訪れた人同士の交流が生まれ、そこから新しいコミュニティや活動が生まれる施設。
 図書の配架についても、従来の日本十進分類法にとらわれず、館内の各ゾーン・スペースのコンセプトに沿って並べる全国的にも珍しい独自のテーマ配架を行っています。
 新しい形式の図書館。
 鹿沼市の図書館にも取り入れていきたいと思います。



栗野小学校のような
階段があり、
広々としたスペースで
読書タイム

- 道の駅 とよはし (豊橋市)
- 道の駅 田原めっくんはうす (田原市)
- 道の駅 あかばねロコステーション (田原市)

どの道の駅も地域の旬の農産物や特産品、地元の食材を使った飲食店が並び、食と農業の魅力を感じる施設。
 早朝から多くのお客様で賑わいを見せており、地域のニーズに応える「にぎわいの場」となっています。
 鹿沼市でも、花木センターの「道の駅化」整備事業を進めています。
 具体的な提案をしていきたいと思います。



要望書 令和5年3月10日

鹿沼市長 佐藤 信 様

鹿沼市議会 親悠会

横 尾 武 男
 関 口 正 一
 谷 中 恵 子
 市 田 登

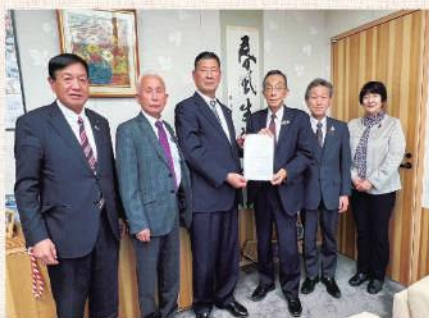
当会派として、以下の要望を提出させていただきます。
 お取り計らいいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 一 児童生徒のアレルギー食対応を強化するため、老朽化した学校給食共同調理場および栗野地区学校給食共同調理場の建て替えまたは大規模な改修工事を行うこと
- 一 地域の宝である子どもたちの安心安全な通学路を目指して、歩道の整備、道路の改修を行うこと。
- 一 鹿沼インター産業団地や宇都宮西中核工業団地、壬生羽生田産業団地のアクセスの強化を図ること。
- 一 児童生徒や地域住民等に対する防災教育の更なる充実を図ること。
- 一 小中学校のタブレットを使用した教育の更なる充実を図ること。
- 一 物価の高騰が深刻な状態であり、小規模農家の更なる支援を図ること。
- 一 市民の健康を守るため、インフルエンザワクチン等の助成の拡大を図ること。

●要望書

本年3月に会派要望7件を市長に提出いたしました。
 今後も、多くの市民の皆さまのご意見、ご要望を会派でまとめ、市に届けていきたいと思っております。



●本新庁舎 2月28日に完成 しました。

令和2年2月から始まりました市役所新庁舎整備工事が本年2月未で完了いたしました。
 その後、引越しの作業等を経て、5月8日(月曜日)に完全開庁となる予定です。
 また、4月30日(日曜日)には、開庁記念式典が市制75周年記念事業として開催される予定です。
 より良い丁寧な市民サービスが提供されますよう、市議会としてもチェックしてまいります。

横尾武男 議員



農業の支援について何う

質問 中山間地域における農業の支援について、麻栽培への支援策、コンニャク栽培への支援策、ソバ栽培の支援策などを何う。



答 弁 (経済部長)

栃木県あさ振興連絡協議会の事務局として、生産者を支援しています。

麻栽培への支援策について、本市は、栃木県あさ振興連絡協議会の事務局として、総会や研修会、講習会などの開催、大麻取扱者免許などの申請、県補助金の申請などを行い、生産者を支援しています。また、市独自の支援策として、上都賀農業協同組合あさ部に対して、麻産地交付金を交付しています。コンニャク栽培への支援策について、こんにゃくも需要安定化推進調査を上都賀農業協同組合栗野こんにゃく生産部に委託しており、生産・流通に関する実態を把握し、需要安定に生かしています。また、麻、コンニャク農家への共通の支援として、堆肥化センターによる堆肥の特別割引販売を実施しています。ソバ栽培への支援策について、令和3年度の栽培面積は317ヘクタールであり、安定した農業経営の継続のため、共同利用する農業機械の導入に対し、経費の一部を補助することで農業経営のコスト削減を支援しています。

質問状況
一覧

- ①観光地における道路整備について
- ②南摩ダム周辺の、観光関連施設整備について

関口正一 議員



鹿沼市公設地方卸売市場について何う

質問 鹿沼市公設地方卸売市場について、現在の運営状況を何う。また、今後の運営方針を何う。



答 弁 (市長)

今年度中には、存続、廃止を含めた方針を固めていきたい。

現在の運営状況について、鹿沼市公設地方卸売市場は、昭和51年の開設以来、本市の食品流通における中枢として、重要な役割を担ってきました。昭和62年には、最大の取扱高となる27億9,140万円を記録しましたが、その後は流通形態の多様化に伴い、出荷者や買受人が減少するにつれて取扱高も低下しています。直近のデータでは、令和2年度の取扱高が6億5,288万円であり、ピーク時と比較して約4分の1と、大変落ち込んでいます。今後の運営方針については、市では、これまで市場存続のため、運営委託会社に対し財政的な支援を続けてきましたが、継続的な黒字運営には至らず、市場運営は大変厳しい状況が続いています。さらに、市場内の大部分の構築物は老朽化が著しく、改修には莫大な費用が必要となります。こうした厳しい状況を直視し、市場事業の今後については、市としての考え方をできる限り速やかに整理し、今年度中には、存続、廃止を含めた方針を固めていきたいと考えています。

質問状況
一覧

- ①学校プール等について
- ②個人事業経営者について

谷中恵子 議員



ごみ行政について何う

質問 10月から開始となる新しいごみ分別の推進については、市民の皆様にはきちんと理解していただくためにも丁寧な説明が必要だと思いますが、今後の住民周知をどのように進めていくのか、お聞かせください。



答 弁 (環境部長)

パンフレットの送付や広報かめまでの連載を通して情報発信を強めていきます。

分別推進における今後の住民周知について、今後、物価高騰に対する生活支援として指定ごみ袋引換券を全世帯に送付しますので、その送付に合わせて、問い合わせの多い内容に関する説明を記載したパンフレットを新たに送付するとともに、広報かめまでの連載を通して情報発信を強めていきます。広報では、ごみの豆知識や知っていると便利な情報、問い合わせが多い点などについて掲載をすることで、できるだけご理解をさせていただきたいと考えています。また、10月以降の危険ごみの収集において、間違ったごみの出し方をしても、当分の間は回収を行うとともに、お願いシール等で正しい分別方法をお知らせしていきます。さらに、自治会を含めた各種団体等でご希望があれば、10月以降でも説明会を開催したいと考えています。

質問状況
一覧

- ①保育園の米飯給食について
- ②公共施設の快適さ確保について

市田 登 議員



鹿沼市の行財政運営について何う

質問 9月議会の健全化判断比率の報告では、指標が健全である旨の報告がされているが、その状況から、令和5年度の予算編成に向けて、投資的経費を重点的に配分することが可能と思われる。市の考えを何う。



答 弁 (市長)

税収入につながる事業や本市に人を呼び込む事業への投資についても、積極的に進めていきたい。

令和5年度予算編成における投資的経費の考え方について、経常収支比率等の財政指標の改善は、コロナ禍における国の財政対策等を背景とした全国共通の一時的な状況と認識しています。しかし、公共施設の老朽化対策や未来に向けた投資が必要であることは言うまでもなく、令和5年度においては、新庁舎整備事業が完了するものの、ほかの大型公共事業が本格化することから、投資的経費は前年に引き続き、高い水準で推移するものと見込んでいます。市民生活に影響を及ぼさないように、学校、道路などの社会資本の整備を進めるとともに、鹿沼インター産業団地整備や水源地域振興拠点施設整備などの税収入につながる事業や本市に人を呼び込む事業への投資についても、積極的に進めていきたいと考えています。

質問状況
一覧

- ①水源地域整備事業について
- ②市内小中学校に於ける帰国・外国人児童生徒の支援について
- ③自治会について